AVerMedia

USB 3.0 HDMI キャプチャー
CV710

※本製品の使用についての詳しい説明は、 AVerMedia公式サイトをご覧ください。
※こちらのパッケージにCD-ROMは付きません。 下記のリンク先から最新のドライバ・ソフトウエアをダウンロードいただくようお願いします。
http://www.avermedia.co.jp/download/index.html

日本語

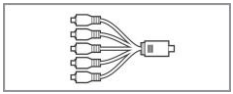
クイックガイド

パーケージ内容

A.　CV710 本体

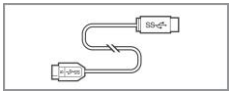
(Capture Box)

B.　クイックガイド（本書）

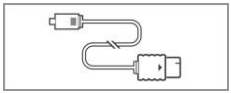


C.　AV IN – コンポーネント

AV 変換ケーブル



D.　Micro USB 3.0 ケーブル



E.　専用 PlayStation3 ケーブル

動作環境 (2014 年 3 月現在)

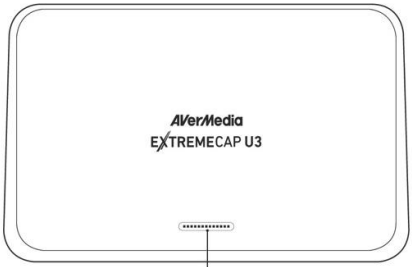
■ 対応 OS：Windows® 8.1 / 8、Windows® 7 (64/32 ビット)
■ インターフェイス：USB 3.0 ポート
※ Intel 製、ルネサス エレクトロニクス製、Fresco Logic 製各 USB3.0 ホストコントローラに対応しております。
※ USB ホストコントローラの確認方法などの情報を本製品の商品ページの FAQ でも公開しています。
http://www.avermedia.co.jp/product_swap/avt-cv710_qa.html
※ USB2.0 には対応しておりません。
■ 対応サードパーティ製の録画・ライブ配信ソフト：
- DirectShow 対応ソフトウェア
■ 対応サードパーティ製の動画編集ソフト：
(プラグインソフトのセットアップが必要)
- Adobe Premiere Pro CS6 (非圧縮取り込み可能)
- Sony Vegas Pro (非圧縮取り込み可能)

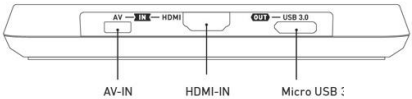
【パソコン(デスクトップ)の場合】
■ CPU：Intel® Core™ i5-3400 以上 (Ivy Bridge 以降)
■ グラフィックボード：NVIDIA GeForce® GT 630 以上
■ メインメモリ：4GB RAM 以上推奨

【ノートパソコンの場合 – 推奨動作環境-①】
■ CPU：Intel® Core™ i7-3537U 2.0GHz (Ivy Bridge 以降)
■ グラフィックボード：NVIDIA GeForce® GT 735M
■ メインメモリ：4GB RAM 以上推奨

【ノートパソコンの場合 – 推奨動作環境-②】
■ CPU：Intel® Core™ i7-4700HQ 2.4GHz (Ivy Bridge 以降)
■ グラフィックボード：NVIDIA GeForce® GT 750M
■ メインメモリ：4GB RAM 以上推奨
(※ 動作確認済の最新環境は下記のリンク先と製品仕様にご参照ください
http://www.avermedia.co.jp/product_swap/avt-cv710_spec.html)

本体各部の名称





LED インジケーターの動作と色の状況

動作状況	色の状況
本体起動中	青い光が点滅
待機	全体が青く光る
RECentral 起動中	青い光がすばやく点滅
録画中	赤くゆっくり点滅
ライブ配信中	青くゆっくり点滅
警告	赤くすばやく点滅
エラー	青と赤が交互にすばやく点滅

機器との接続（初めての使用手順）

初めてCV710をセットアップする方は、以下の手順でCV710をセットアップしてください。

Step 1. 付属のUSB 3.0ケーブルでPCと接続します。

Step 2. 最新のソフト/ドライバをインストールします（5ページ）。

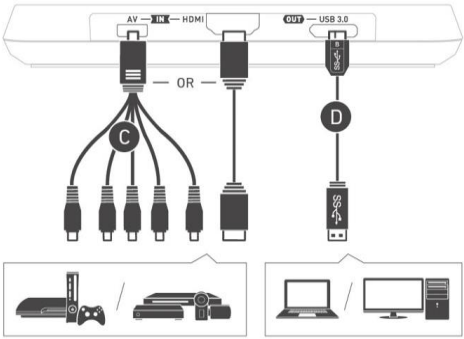
Step 3. 専用ソフト「AVerMedia RECentral」を起動します（5ページ）。

Step 4.「USB 3.0診断ツール」の転送速度テストを受けます（31ページ）。

※注意：初めて本製品を接続・使用する際は、必ず本診断ツールを実行して、CV710と取り付けたUSB3.0ポートの帯域のパフォーマンス計測(診断ツールの「スタンダード」の診断モード)を受けてください。

Step 5. 専用ソフト「RECentral」を使い続けますか、対応するサードパーティ製ソフトを使ってPCに録画・ライブ配信・編集を行います。

ゲーム機、映像機器などを接続する場合



- コピーガードにより録画・静止画キャプチャー、ライブ配信ができない場合があります。(HDCP、マイクロビジョンなど)
- 同時に繋げられる機器は、HDMI 入力、AV IN 入力のいずれかに一台までです。HDMI 入力、AV IN 入力が同時に繋げられる場合は、HDMI 入力のみ有効です。

ドライバ / ソフトウェア（RECentral/USB3.0 診断ツール）のセットアップ

■ インストール（Windows® 8 & Windows® 7 共通）

AVerMededia公式サイト
(http://www.avermedia.co.jp/download/index.html)にアクセスし、CV710の最新ドライバ及びRECentralの最新バージョン(「USB3.0診断ツール」含む)をダウンロードしてください。
ダウンロードが完了したら、アイコンをダブルクリックしてインストーラーを立ち上げ、画面の指示に従ってインストールを進めてください。

■ アンインストール(Windows® 8 と Windows® 7で手順が異なります)

【Windows® 8の場合】

ソフト/ドライバをアンインストールするには、以下の操作を行います。

1. Windows 8の画面の左下隅で右クリックし、表示されたメニューから[プログラムと機能]をクリックして開きます。
   (※ キーボードをご使用の場合は、Windowsキー＋[X]キーでメニューを表示できます)
2. 一覧から「AVerMedia RECentral」か「AVerMedia CV710 USB3 HD Capture」を選んで、ダブルクリックして完全にアンインストールします。

【Windows® 7の場合】

ソフト/ドライバをアンインストールするには、以下の操作を行います。

1. [スタート] ボタンをクリックし、[コントロール パネル]▶[プログラム]▶[プログラムと機能]の順にクリックします。
2. 一覧から「AVerMedia RECentral」か「AVerMedia CV710 USB3 HD Capture」を選んで、ダブルクリックして完全にアンインストールします。

■ ソフトの起動

デスクトップの「AVerMedia RECentral」か「AVerMedia USB3.0 Diagnosis Tool」のアイコンをダブルクリックします。

サードパーティ製ソフトウェアを使用する場合

サードパーティ製のキャプチャー/ライブ配信ソフトウェアを使用する場合は、以下のソフトウェアをお勧めします。（本商品はサードパーティ製ソフトウェアを付属しておりません）

・アマレコTV
・NLE (Niconico Live Encoder)
・OBS (Open Broadcaster Software)
・XSplit

- 各サードパーティ製ソフトウェアの操作・設定方法等につきましては、各ソフトウェアのサポート窓口などにお問い合わせください。（弊社では各サードパーティ製ソフトウェアの操作方法、設定方法などのお問い合わせについては対応できませんので、ご了承ください。）
- サードパーティ製のソフトの使用によって生じるあらゆる直接的・間接的故障・損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

プラグインソフト(動画編集ソフト用)を使用する場合

■ インストール（Windows® 8 & Windows® 7 共通）

サードパーティ製の動画編集ソフトウェア(Adobe Premiere Pro CS6、Sony Vegas Proなど)に対応するCV710のプラグインソフトを使用する場合は、AVerMededia公式サイト（http://www.avermedia.co.jp/download/index.html）にアクセスし、CV710に対応するプラグインソフト(動画編集ソフト用)の最新バージョンをダウンロードしてください。

ダウンロードが完了したら、ZIP 形式のフォルダーをダブルクリックして開き、「Adobe Premiere Pro Plugin」「Sony Vegas Plugin」のいずれかで右クリックして、コンテキストメニューの「すべて展開(T)」をクリックして展開(解凍)します。解凍されたプラグインソフトのフォルダーを開いて、「setup」のアイコンをダブルクリックしてインストーラーを立ち上げ、画面の指示に従ってインストールを進めてください。

■ アンインストール(Windows® 8 と Windows® 7で手順が異なります)

【Windows® 8の場合】

プラグインソフトをアンインストールするには、以下の操作を行います。

1. Windows 8の画面の左下隅で右クリックし、表示されたメニューから[プログラムと機能]をクリックして開きます。
   (※ キーボードをご使用の場合は、Windowsキー＋[X]キーでメニューを表示できます)
2. 一覧から「Adobe Premiere Pro Plugin」か「sony vegas Plugin」を選んで、ダブルクリックして完全にアンインストールします。

【Windows® 7の場合】

プラグインソフトをアンインストールするには、以下の操作を行います。

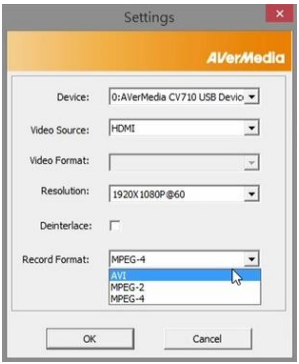
1. [スタート] ボタンをクリックし、[コントロール パネル]▶[プログラム]▶[プログラムと機能]の順にクリックします。
2. 一覧から「Adobe Premiere Pro Plugin」か「sony vegas Plugin」を選んで、ダブルクリックして完全にアンインストールします。

■ **プラグインソフトを使用**

【Adobe Premiere Pro CS6を使用する場合】

※ 注意：最適な実行効率をもたらす為には、実行中のすべてのプログラム(弊社のRECentral･他のサードパーティ製ソフトウェア等)を閉じてから、Adobe Premiere Pro CS6(本プラグインソフト)を実行することをおすすめします。

1. Adobe Premiere Pro CS6 を起動します。
2. 新規プロジェクト(New Project)を作成します。
3. 【キャプチャ形式(Capture Format)】から「AVer Record」を選択します。
4. 【Settings (設定)】をクリックすると、プラグインソフトを起動して細かい設定ができます。「Device (デバイス)」「Video Source (ビデオソース)」「Resolution (解像度)」「Deinterlace(インターレース解除)」「Record Format (映像のフォマート)」の５つの項目が設定できます。(「Video Format (ビデオフォマート)」の設定は対応しておりません)



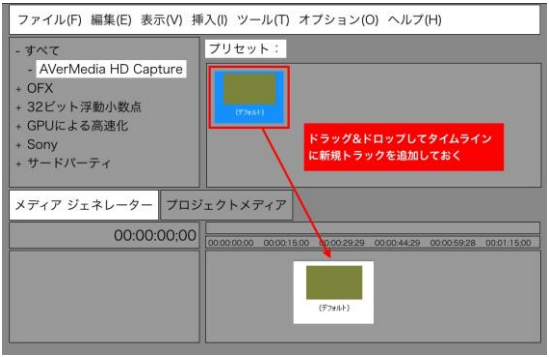
5. 「Record Format (映像のフォマート)」で[MPEG-2]か[MPEG-4]を選択する場合は、「Advanced (詳細設定)」をクリックすると、より細かい設定の調整ができます。

6. 【OK】を選んでプラグインソフトの設定を終了します。再び【OK】をクリックすると、新規プロジェクトを開始します。
7. プロジェクトの作業の途中で、【ファイル (File)】メニューから【キャプチャ (Capture)】 をクリックして(※ キーボードをご使用の場合は、F5 キーを押します)、CV710 プラグインソフトを通して CV710 を使って接続機器の映像・音声をプレビューすることができます。【録画 (Record)】ボタンを押せば、プレビュー中の映像、音声のキャプチャーを開始します。【停止 (Stop)】ボタンを押せば、キャプチャしたクリップを保存ができます。
8. プロジェクトの作業の途中でも、【ファイル (File)】メニューから【キャプチャ (Capture)】→【設定 (Setting)】→【編集 (Edit)】→【Settings (設定)】を再度クリックすれば、プラグインソフトの設定内容の変更もできます。

【Sony Vegas Proを使用する場合】

※ 注意：最適な実行効率をもたらす為には、実行中のすべてのプログラム(弊社のRECentral･他のサードパーティ製ソフトウェア等)を閉じてから、Sony Vegas Pro(本プラグインソフト)を実行することをおすすめします。

1. Sony Vegas Pro を起動します。
2. 【表示 (View)】メニューから【メディア ジェネレーター (Media Generators)】をクリックして(※ キーボードをご使用の場合は、Alt キー＋[9]キーで押します)、【メディア ジェネレーター】メニューを表示します。
3. 【メディア ジェネレーター】画面で[すべて (All Media)]をクリックして、「AVerMedia HD Capture」を選択して、【プリセット (Preset)】画面で[デフォルト (Default)]のアイコンをタイムラインにドラッグ&ドロップして新規トラックを追加しておくと、【ビデオメディアジェネレーター】画面が出てプラグインソフトを起動します。



4. 【ビデオメディアジェネレーター】で、プラグインソフトの細かい設定ができます。「Capture Device (キャプチャーデバイス)」「Video Source (ビデオソース)」「Resolution (解像度)」「Deinterlace(インターレース解除)」「Record Format (映像のフォマート)」の 5 つの項目が設定できます。【Preview (プレビュー)】【Record (録画)】ボタンを押せば、CV710 プラグインソフトを通して CV710 を使って接続機器の映像・音声をプレビュー・録画することができます。【Stop Record (録画停止)】ボタンを押せば、キャプチャしたクリップを保存ができます。

ビデオ メディアジェネレーター

AVerMedia RECentral クイックガイドガイド

録画／ライブ配信ウインドウの見方

①最新情報：AVerMediaの最新情報などを表示します
②録画：録画の設定をします（14ページ）
③ライブ配信：ライブ配信の設定をします（26ページ）
④保存フォルダ：撮影したファイルの保存フォルダを開きます
⑤公式ウェブサイトのニュースページを表示します
⑥AVerMediaの機器が複数ある場合、ここから切り替えられます
⑦一般設定の画面を開きます（30ページ）
⑧このウインドウをタスクバーに収納します
⑨RECentralを終了します

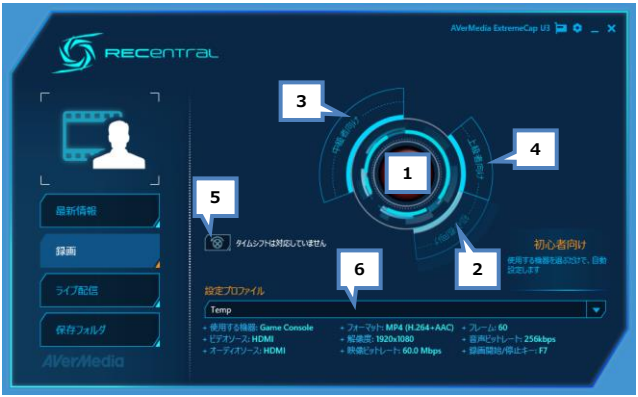
録画／ライブ配信ウインドウの見方

①録画／ライブ配信する画面を表示します
②このウインドウをタスクバーに収納します
　フルスクリーン表示に切り替えます
　このウインドウを閉じてメイン画面に戻ります
③現在の状態をアイコンで表示します
（一般設定で表示のオン／オフが切り替えられます）
　(　)：スタンバイ中　　(マイク)：マイクON
　(赤)：録画中　　(カメラ)：スナップショット撮影中
　(青)：ライブ配信中　　(HDD)：HDD(ハードディスク)の空き容量不足
④音声のオン／オフ
⑤録画／ライブ配信の開始／停止
⑥スナップショットを撮る
⑦動画の経過時間（録画／ライブ配信中のみ表示）
⑧撮影したファイルを保存するHDDの空き容量

録画の手順

メイン画面で「録画」を選ぶと、録画モードのメニューが表示されます。

1. 初心者向け、中級者向け、上級者向けのいずれかで録画設定を行います。
2. 各設定画面で「準備完了」ボタンを押すか、録画モードのメイン画面で中央の赤いボタンをクリックすると、録画ウインドウに切り替わります。
3. (録画ウインドウ）画面中の「録画ボタン」、もしくはキーボードのショートカットキーを押して録画を開始します。
4. (録画ウインドウ）録画を終える場合は、画面中の「録画ボタン」、もしくはキーボードの同じキーを再度押します。



①録画スタンバイ状態になります（13ページ）
②初心者向け(→15)：かんたんな自動設定を利用します
③中級者向け(→16)： 5 つのステップで項目ごとに設定をします
④上級者向け(→24)：好みに合わせた、より細かい設定ができます
⑤タイムシフト：CV710では対応していません（使用しません）
⑥これまでに保存した設定プロファイルの中から選んで切り替えます

a. 録画設定 ー 初心者向け

使用する機器を選ぶだけで、録画のフォーマットや解像度、映像/音声ビットレートなどをすべて自動で設定します。

家庭用ゲーム機を録画する場合は「ゲーム機」を、カメラ機器や各種映像機器/デバイスを録画する場合は「その他の映像機器」を選んで「開始」ボタンを押してください。

①使用する機器を選び「開始」をクリックすると、サムネイル画面が表示されます

②選んだ機器によってすべて自動で設定されます

③クリックすると録画ウインドウに切り替わります

④サムネイル画面

b. 録画設定 ー 中級者向け

「使用する機器」「ビデオソースを選択」「オーディオソースを選択」「映像設定」「ショートカットキー」の５つの項目ごとに録画設定をします。中級者向けの設定方法です。タブで各項目を切り替えて設定を行なってください。

①左のタブに切り替えます
②右のタブに切り替えます
③クリックすると録画ウインドウに切り替わります

1. 使用する機器

使用する機器を選びます。家庭用ゲーム機を録画する場合は「ゲーム機」を、カメラ機器や各種映像機器/デバイスを録画する場合は「その他の映像機器」を選んでください。

右側には選択した機器との接続図が表示されます。図のとおりにケーブルが接続されているか確認してください。

2.　ビデオソースを選択

使用する機器から、映像をどの端子で出力しているかを選びます。「HDMI」「コンポーネント」のいずれかを選んでください。

また、下の「映像の調整」をクリックすると、より細かい映像の調整ができます。HDMIを選択する場合では、調整できる項目は「輝度(-128-127)」「コントラスト(0-255)」「色合い(-128-127)」「彩度(0-255)」の４つです。

3． オーディオソースを選択

使用する機器からの音声を、どの端子でパソコンに入力しているかを選びます。ケーブルを接続すると自動で設定されます。別の入力端子に切り替える場合は、▼でメニューを開いて選択してください。

パソコンにマイクをつなぐと「マイク」にチェックが入ります。（マイクを認識しない場合は、RECentralを再起動してください。）マイクをつないでいても、チェックを外せばマイクはOFF状態になります。また、「マイク音声を別のmp3ファイルとして保存する」にチェックを入れると、マイク音声をmp3形式の別ファイルとして保存できます。

右側のつまみを左右に動かすと、キャプチャーデバイス(CV710)・マイクの音量(録画・PC環境での再生)を調整することができます

①キャプチャーデバイス(CV710)の音量（録画・PC環境での再生)
②マイクの入力の音量（録画・PC環境での再生)

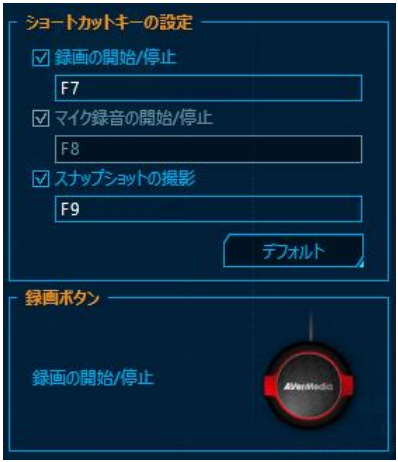
４．　映像設定

映像のフォーマットや解像度、映像/音声ビットレートなどを設定します。設定できる項目は下の表のとおりです。項目ごとにいずれかの設定を選んでください。また、一番下には、その設定での「録画可能な時間」とハードディスクの使用状況が表示されます。

映像のフォーマット	MP4（H.264+AAC）
解像度 (録画)	1920×1080、1680×1050、1280×1024、 1440×900、1360×768、1280×800、 1280×768、1280×720、1024×768、 960×540、800×600、720×576、848×480、 768×480、720×480、640×480、640×360、 576×360 、320×240、320×180
映像ビットレート	0.3 ～ 60.0 Mbps
音声ビットレート	256kbps、192kbps、128kbps、96kbps、 64kbps、32kbps
フレーム (使用する解像度に より制限があります)	60、50、30、25、24、20、15 フレーム/秒 ※ 注意：CV710 の USB3.0 診断ツールのセーフモード等を有効にする場合は、選択できるフレームは最大 30/25 までです。

5. ショートカットキー

「録画の開始/停止」「マイク録音の開始/停止」「スナップショットの撮影」の 3 つを行うショートカットキーを設定します。標準設定は「録画の開始/停止」が F7 キー、「マイク録音の開始/停止」が F8 キー、「スナップショットの撮影」が F9 キーに設定されています。また、AVerMedia「LIVE GAMER HD AVT-C985」付属の専用録画ボタンを USB 接続して使用することができます。



6． 設定プロファイルを読み込む

これまでに保存した設定プロファイルの中から選んで設定を切り替えます。「保存」を選ぶと現在の設定を上書き保存し、「別名で保存」を選ぶと設定プロファイルに名前をつけて保存することができます。

（設定が変更された状態で設定ウインドウを閉じたり、「準備完了」ボタンを押した場合、設定プロファイルを上書きするか確認されます）

a. 録画設定 ー 上級者向け

好みに合わせて、より細かく録画設定をします。上級者向けの設定方法です。設定項目は「中級者向け」とほとんど同じですが、各項目を１画面で設定していくことができます。

「準備完了」ボタンを押すと録画ウインドウに切り替わります

1． 使用する機器

使用する機器を「ゲーム機」「その他の映像機器」の２つから選びます。

2． ビデオソースを選択

使用する機器から、映像をどの端子で出力しているかを「HDMI」「コンポーネント」のいずれかから選びます。「設定」をクリックすると、より細かい映像の調整もできます。中級者向けの「ビデオソースを選択」と同じです。

3． オーディオソースを選択

使用する機器からの音声を、どの端子でパソコンに入力しているかを選びます。ケーブルを接続すると自動で設定されます。別の入力端子に切り替える場合は、▼でメニューを開いて選択してください。中級者向けの「オーディオソースを選択」と同じです。

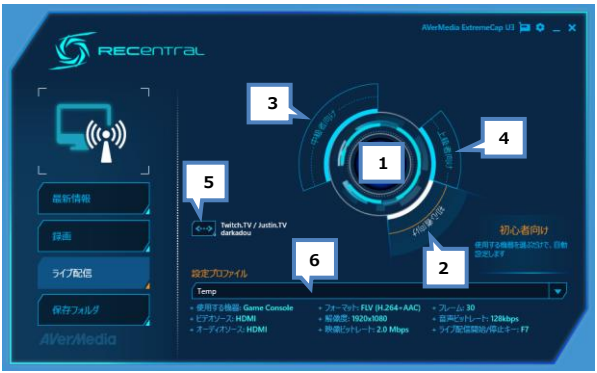
「設定」では、マイクの音量調整ができます。つまみを左右に動かして調整してください。

右側のつまみを左右に動かすと、キャプチャーデバイス(CV710)・マイクの音量(録画・PC環境での再生)を調整することができます。

ライブ配信の手順

メイン画面で「ライブ配信」を選ぶと、ライブ配信モードのメニューが表示されます。

1.「ログイン」をクリックして、使用する配信サービスにログインします。
2.初心者向け、中級者向け、上級者向けのいずれかでライブ配信設定を行います。
3.各設定画面で「準備完了」ボタンを押すか、ライブ配信モードのメイン画面で中央の青いボタンをクリックすると、ライブ配信ウインドウに切り替わります。
4. (ライブ配信ウインドウ)画面中の「ライブ配信ボタン」、もしくはキーボードのショートカットキーを押して録画を開始します。
5. (ライブ配信ウインドウ)録画を終える場合は、画面中の「ライブ配信ボタン」、もしくはキーボードの同じキーを再度押します。



①ライブ配信のスタンバイ状態になります（13ページ）
②初心者向け：かんたんな自動設定を利用します
③中級者向け：５つのステップで項目ごとに設定をします
④上級者向け：好みに合わせた、より細かい設定ができます
⑤ログイン：配信サービスのアカウントを設定します
⑥これまでに保存した設定プロファイルの中から選んで切り替えます

a. 配信サービスのアカウント設定

RECentralのライブ配信モードを利用するには、使用する配信サービスのアカウントが必要です。

ライブ配信モードのメイン画面にある「ログイン」をクリックして、使用する配信サービスのアカウントを入力します。

1. 配信サービス

利用する配信サービスを、「TwitchTV」「Ustream」「niconico(ニコニコ生放送)」「YouTube Live」「Custom RTMP」の５つから選びます。アカウントを持っていない場合は、下の「アカウントがない場合はここから登録してください。」をクリックすると、ブラウザが立ち上がり、ここで選んだ配信サービスのウェブサイトに飛びます。(※RECentralのアップデートにより、対応する配信サービスが追加されることがあります。)

2． スピートテスト

１で選んだ配信サービスへの、接続スピードのテストができます。

3． 接続

「配信サービス」で選んだ配信サービスへ接続します。

b. 各配信サービスの配信手順

【ニコニコ生放送】

(1) ニコニコ生放送のサイトで番組情報を登録し、放送枠を取得してください。

(2) 放送枠の設定で「外部ツール」＞「すぐに放送を始める」を選んでください。

(3) RECentralのライブ配信モードのメニューで「ログイン」をクリックし、「niconico」を選んでログインしてください。

※ 放送枠の取得後、時間表示が-5:00～5:00の10分間の間に、(2)と(3)をおこない、配信するコンテンツを送信し始めてください。放送枠取得後10分以内に行わないと、放送枠の時間表示の約5分で配信が中止されます。

【TwitcTV】

(1) RECentralのライブ配信モードのメニューで「ログイン」をクリックし、「TwitchTV」を選んでログインしてください。

【Ustream】

(1) Ustreamの「ダッシュボード」にて個人の番組を一度作成してください。

(2) RECentralのライブ配信モードのメニューで「ログイン」をクリックし、
「Ustream」を選んでログインしてください。

【YouTube Live】

(1) RECentralのライブ配信モードのメニューで「ログイン」をクリックし、
「TwitchTV」を選んで使用許可を承認してから、ログインしてください。
※YouTube Liveを利用するには、ライブストリーミングミング
サービスに認証済みアカウントを持つことが必要です。

一般設定

①表示する言語を変更します
②RECentralのウインドウの透明度を変更します
③録画／ライブ配信ウインドウの右上に、状態を示すアイコンを表示するかを設定します
④チェックをつけるとOS起動時にRECentralが起動します
⑤録画ファイルの保存先を設定します
⑥プロファイルの削除、読み込み、保存ができます
⑦RECentralのバージョン情報です

USB3.0 診断ツールクイックガイド

■ **インストール/アンインストール/ソフトの起動**

ページ4~5をご参照ください。

■ **ソフトを使用**

※注意：初めて本製品を接続・使用する際は、必ず本診断ツールを実行して、CV710と取り付けたUSB3.0ポートの帯域のパフォーマンス計測(診断ツールの「スタンダード」の診断モード)を受けてください。

1. USB3.0診断ツール(AVerMedia USB3.0 Diagnosis Tool)を起動します。

   ※注意：最適な診断結果をもたらす為には、実行中のすべてのプログラム(弊社のRECentral･サードパーティ製ソフトウェア等)を閉じてから、本診断 USB3.0 ツールを実行することをおすすめします。

2. 注意事項等を確認して、「次へ」ボタンをクリックします。

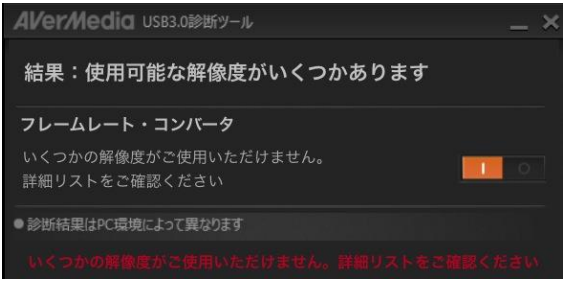
a. 診断ツール選択：スタンダード(推奨)

1. 「スタンダード」の診断モードを選択して、「次へ」ボタンをクリックすると、CV710に接続中のUSB 3.0ポートの帯域のパフォーマンス計測をスタートします。

2. 診断中です(※診断時間は約数秒です。)

3. パフォーマンス計測の終了後、計測結果と、対応できる入力ソース解像度が表示されます。診断結果が正常の場合は、「終了」ボタンをクリックして、本USB3.0診断ツールを終了します。
   (全ての入力ソースに対応可能で、最大入力ソース解像度1920x1080p@60pに対応できていれば正常です)

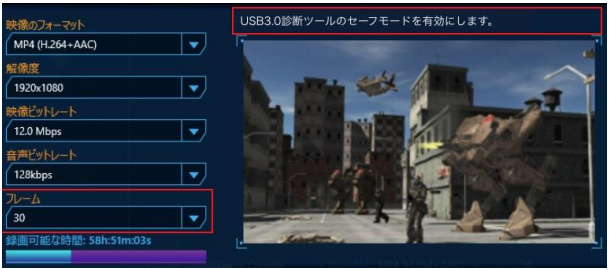
4.診断結果が正常でない場合、対応していない解像度に対して調整をON/OFFにするかどうか確認します。(※フレームレート・コンバータ = セーフモード)
(対応状況に×印がある場合は正常ではありません)



フレームレートの調整をONにする場合：対応していない入力ソースの解像度のフレームレートを半分(60p/50pに限る)にすることで、
対応解像度を増やすことができます。
例：1920x1080@60p→30p
1920x1080@50p→25p
1680x1050@60p→30p

（例）

5. 本USB3.0診断ツールに、一度に設定されるフレームレートは、弊社のRECentralと他のサードパーティ製ソフトウェアに影響があります。フレームレートが半分に設定された解像度は、フレームレートは最大30/25までです。この制限を解除したい場合は、「スタンダード」でフレームレート・コンバータをOFFにしてください。
(※注意：正常ではない場合で、フレームレート・コンバータはOFFにする場合は、全ての解像度/フレームレートに対応不能の可能性があり、画面表示に問題があり、キャプチャーできない場合もあります)



■ **(弊社のRECentralを使用する場合) フレームレートの調整を有効にすると、フレームレートは半分にされて、最大フレームは30p/25pまでです。(※フレームレート・コンバータ = セーフモード)**

b. 診断ツール選択：セーフモード

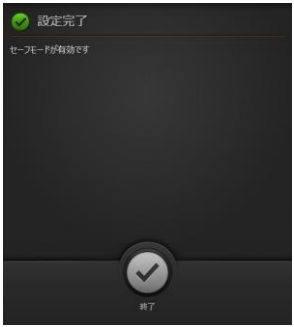
録画中やプレビュー中に、画面にフリッカーが生じたり、不安定な場合は、このモードをお試しください。セーフモードを有効にする場合は、全ての解像度のフレームレートを強制に半分(60p/50pに限る)にすることで、解像度を上げても録画品質を保てます。

例：1920x1080@60p→30p
　　1920x1080@50p→25p
　　1680x1050@60p→30p

1.「セーフモード」を選択して、「次へ」ボタンをクリックします。

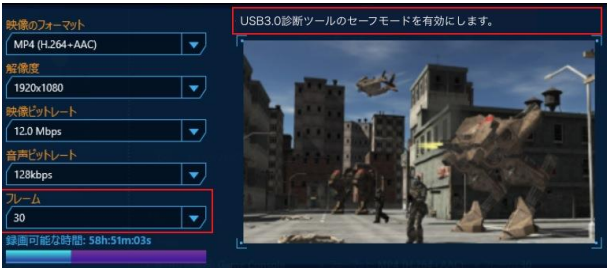
2.「セーフモード」を有効にして、「次へ」ボタンをクリックします。

3.「セーフモード」を有効にしました。全ての解像度のフレームレートが半分(60p/50pに限る)にされました。「終了」ボタンをクリックして、本USB3.0診断ツールを終了します。



4. 本USB 3.0診断ツールに一度に「セーフモード」に設定されるフレームレートは、弊社のRECentralとサードパーティ製ソフトウェアに影響があります。フレームレートが半分に設定された解像度は、フレームレートは最大30/25までです。この制限を解除したい場合は、「セーフモード」で無効にしますか、もしくは「スタンダード」でフレームレート・コンバータをOFFにしてください。

（※注意：正常ではない場合で、「セーフモード」は無効にするか、または「スタンダード」でのフレームレート・コンバータはOFFにする場合は、全ての解像度/フレームレートに対応不能の可能性があり、画面表示に問題があり、キャプチャーできない場合もあります）



■ **（弊社のRECentralを使用する場合）フレームレートの調整を有効にすると、フレームレートは半分にされて、最大フレームは30p/25pまでです。**

■情報

本製品は、第二種情報装置（住宅地域またはその隣接した地域において使用されるべき情報装置）で、住宅地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)基準に適合しております。しかし、本装置をラジオ、テレビジョン受信機に近接してご使用になると、受信障害の原因となることがあります。取り扱い説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、ラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

■顧客プライバシー保護

AVerMedia Technologies はお客様との取引やサービスを提供するためにお客様の個人情報を収集し、その範囲内で収集した個人情報を利用します。また、収集したお客様の個人情報は、お客様の承諾を得ない第三者には提供・開示しません。
製造元：AVerMedia Technologies　　Web サイト：http://www.avermedia.co.jp

■安全のために必ずお読みください。

警告：この警告を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
・本製品の修理・分解・改造をしないでください。
・極端な温度の中で本製品を使用しないでください。
・体に帯電した静電で部品が壊れる恐れがありますので、本製品の回路部分を素手で触れないでください。
・本製品は子供が手を触れないようにしてください。
・安全のため接続手順をこの説明書に従って行ってください。
・火災や感電の危険がある場合は、本製品を自身で修理組み立てを行わないでください。
・火災や感電の原因となるので、電源をいれたまま移動しないでください。
・本製品の基板部分には直接手を触れないでください。基板には尖っている部分があります。誤って触れるとけがの原因となります。

取り付け・接続の際は、以下を厳守してください。感電・火災・発煙の原因となります。
・作業の前に、本製品を接続する機器および周辺機器の電源を切り、コンセントから抜いてください。
・添付品またはして指定品をご使用ください。
・煙が出たり変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。
・パソコンの電源を切って、コンセントからプラグを抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

注意：この警告を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
本製品動作中はされに注意してください。
・本製品は、VCCI Class-B に基づき、家庭環境で使用することを目的に設計されています。
・本製品に他の家電製品を近づけて使用した場合、重心障害を起こすことがあります。
・本製品の使用にあたり、取り扱い説明書に従って正しい取り扱いをしてください
・本製品の動作中、停電や電源を落とした場合は、正常に録画ファイルの保存やファイルの消失が発生する可能性があります。

■お問い合わせ

ご購入後の製品の修理と技術的なお問い合わせ
AVT.Japan@avermedia.com

ご購入前の製品に対するお問い合わせ、その他のご質問
AVT.Japan@avermedia.com

■修理について

・保証期間中（ご購入日から 2 年間）の自然故障につきましては無償修理の対象となります。
・自然故障以外、または保証期間外の有償修理をご希望の場合、先に修理金額をお知らせします。そのうえで、修理をお受けになるかご検討ください。修理をお受けにならない場合、無料でご返送いたします。

※「AVerMedia」は AVerMedia Technologies, Inc.の商標（または登録商標）です。
※本製品で記録したものを、私的な目的以外で著作権者や他の権利者の承諾を得ずに複製・配布・配信することは著作権法や国際条約の規定により禁止されています。
※本製品の使用によって生じるあらゆる直接的・間接的損害に関して、AVerMedia Technologies は一切の責任を負いません。
※仕様および外観は製品改良のため、予告なく変更されることがあります。
※製造地：台湾（アクセサリーを除く）